

昭和村統合小中学校推進協議会

ともに学び、ともに育つ学び舎づくり

▶ 問合せ 教育委員会学校教育係 ☎ 24-5120



建設候補地「鎌沢案」を修正

6月29日(月)、第16回推進協議会では、5月に開催した地域説明会でも出された意見を踏まえて、学校規模や必要施設の効率化・コンパクト化を行えるところについて協議し、修正を行いました。

《当初案》



《ゾーニング修正案》



《修正・検討内容》

- ① 学校の規模や施設をまとめ、用地面積、事業費を削減
- ② 現行の三ツ谷グラウンドを継続活用するため、アクセス路を整備
- ③ 既存の生活道路(黄色線)を残し活用
- ④ 交通への影響緩和のため、新たに道路(白線)を整備

地域説明会の実施

7月3日(金)から7月10日(金)にかけて区長会議・地域説明会(web同時配信)を行い、推進協議会で選定した候補地「鎌沢案」の経緯や今後のロードマップなどを説明しました。

協議会の詳細は特設バナーから



▲特設バナー(イメージ図)



▲村ホームページ



説明会で出された質問



※紙面の都合上、質問や回答は抜粋して掲載しています。
詳しくは村ホームページをご覧ください。

Q 建設費用の妥当性・住民負担は？

- A 施設規模の精査により総事業費60億円台を目指します。増税の予定はありません。財源確保のため各種料金の値上げ、村独自の補助金・事業を見直す場合があります。

Q 少子化が見込まれる中、学校規模は適切か？

- A 開校時の児童生徒数を最大値(332名)と見込み、将来的には全学年1クラス(30名)を想定したコンパクトな施工を目指します。

Q 地盤改良の費用は？

- A 地盤対策の杭打ち追加費用は試算に含まれています。地盤調査を実施した上で、安全性を最優先に進めていきます。

Q 生活環境の変化に伴う地元住民への配慮は？

- A 砂ぼこり、騒音、生活道路の変更などへの対応は、計画の段階から近隣の方々にご迷惑にならないよう進めていきます。

Q 用地買収に向けた交渉の見通しは？

- A 議会の議決をもって正式にお話をさせていただきます。地権者の方々には、誠意をもって説明し、理解を得られるよう最大限努力していきます。

Q 既存校舎の解体費用と跡地の利活用は？

- A 役目を終えた学校の解体費用は、学校建設費には含まれていません。跡地利用は、全国の活用事例を参考に、役場全体で取り組んでいきたいと考えています。